

# ホテル滞在時の避難考える 要配慮者の立場を体験

別府、従業員や学生ら

【別府】災害時の要配慮者支援について学ぶ防災講座が9日、別府市北浜のホテルニューツルタであった。市内外から防災に関心のある約70人が参加。ホテル滞在時の避難を想定し、災害時の共助や自助などについて考えた。

講演では大分大減災・復興デザイン教育研究センターの鶴成悦久センター長ら防災の専門家3人が別府市で想定される災害内容や災害時を生き抜く力などについて話した。

階段移動を想定した避難訓練もあり、参加者が障害者や福祉に携わる人らの助言を受けながら実施。体に重りを着け、視野の狭いコーグルや車椅子などを使い、障害者や高齢者、妊婦ら要配慮者の立場を体験した。階段に見立てたエリア



床に線を引き階段に見立て、要配慮者の避難訓練をする参加者＝別府市のホテルニューツルタ

(和田礼子)